


【白鳥中の課題】
 ※難しいことでも、失敗を恐れな
 いで挑戦していますか。
 ※自分で計画を立てて勉強をして
 いますか。
 ※家庭どれくらい勉強をしていますか。
 ※スマホ・ゲームの使い方の約束
 を守る。(使用時間)(SNS)


【学校の教育目標】
共に創る
 学び合う 友と高まる 鍛え合う

【郡上市の重点】
 凌霜の心で拓く明日の郡上市
 ～自立・共生・創拓の教育～
創拓
 ・志高くたくましく努力・行動する実践力
自立(なにくそ)
 ・確かな学力・地域社会人としての自覚と責任
共生(おかげさま)
 ・自他の生命、人権の尊重・ふるさとへの誇りと愛着
 ※3つの大切活動(まめで)

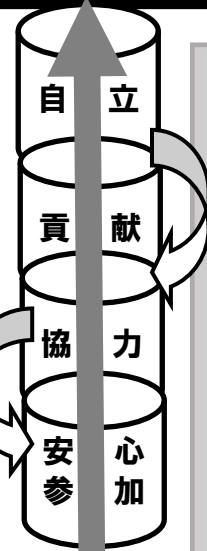
<キーワード>
「共有」
「切磋琢磨」
「試行錯誤」

【重点課題 I】
 自ら困難に立ち
 向かう「豊かな生
 き方」を身に付け
 よう!


<めざす姿>
自ら学び、自ら能力を引き出す力を高める一人一人
 * 願いや見通しを共有し、自分みつめの力を高める。
 * 失敗をおそれず、困難なことに進んで挑戦する。
 * 試行錯誤や切磋琢磨を大切にし、お互いに鍛え合う。
 ■ 誰もが安心してがんばれる学校【地域が誇れる白鳥中】

【重点課題 II】
 自分の生活を切り
 拓く「確かな学
 力」を身に付けよ
 う!


■ 高校や社会で失敗を怖れず挑戦する
 「豊かな生き方」を磨こう!
【白中人権宣言】を中心として
 ① 自ら地道に誠実に努力する生き方
 ② キャリア学習を軸とする生き方
 ③ 自分を見つめ、なりたい自分を
 求める生き方
 ④ 地域に学び貢献しようとする生き方
 ⑤ 他の人から学ぼうとする生き方



■ 高校や社会で生きてはたらく「確かな
 学力」を高めよう!
【白中STAR計画】によって
 ① 課題解決や目標達成に向けて、見通しを
 もって、ねばり強く追究する力
 ② 知識・技能を身に付け、授業や家庭学習
 の中で活用する力
 ③ 仲間と共に切磋琢磨したり、試行錯誤し
 たりする力
 ④ 身に付けた能力を自覚し、実生活の場
 で活用する力

「生き方」をみつめるツール
 ■ 「自分みつめ」 I～IV
 ■ 目的別の各種の「通信」
 ■ 教育相談(保健室がターミナル)
 ※「郡上市 命の教育カリキュラム」「ごぶ いのちの教育」

「学校」をみつめる評価
 【生徒】【保護者】【職員】
 【学校運営協議会】
 【白鳥地域校長会】
 【中高一貫教育評価委員会】

「学力」をみつめるツール
 ■ 「教育通信」
 ■ 授業終末の振り返り
 ■ 個人懇談(定期・随時)
 ※働き方改革で教材研究の時間の生み出し

家庭や地域と繋がる学校
公民館や図書館等との連携
【連携型中高一貫教育の取組】
 ・職員交流(授業参加・授業研究・合同教科
 部会・合同担当者会・夏の学習会)
 ・活動交流(部活・生徒会・地域貢献)
 ・生徒交流(学習支援・先輩と語る会)
【白鳥地域教育プランの取組】
 ・学力(見通しと振り返り・家庭学習・ノート
 作り・小集団学習・ICT活用・図書館活用)
 ・心(あいさつ・ことば・はたらく)
 ・体(朝食・睡眠)

※SDGs(持続可能な開発目標)をふまえた「郡上学の推進」 ※校区等の実態に応じた「学校運営協議会」

1 これからの学校・社会で大切なこと【課題】

【1】持続可能な社会を切り拓いていく！ <SDGs>

このような時代だからこそ、子供たちは、変化を前向きに受け止め、私たちの社会や人生、生活を、人間ならではの感性を働かせてより豊かなものにしたり、現在では思いもつかない新しい未来の姿を構想し実現したりしていくことができる。
「中教審答申」

AIの進化やグローバル化、人生100年時代など、変化の激しい予測困難な時代だからこそ、自分の夢や願いをしっかりと持つことが必要。そのためには、まわりの人たちの姿を生き方の「モデル」として、学ぼうとする姿勢が重要です。それが『共に創る』の真髄（しんずい）。

※郡上市：経済・社会・環境のバランスのとれたSDGsの推進（第2次郡上市総合計画 改訂 後期基本計画）

【2】AIと共に生きる（超スマート社会を生きるために）

人間は、…目的を自ら考え出すことができる。…情報を深く理解して自分の考えをまとめたり、相手にふさわしい表現を工夫したり、答えのない課題に対して、多様な他者と協働しながら目的に応じた納得解を見いだしたりすることができるという強みを持っている。「中教審答申」

AIを目標実現のための心強いパートナーとして使いこなすことが大切。「人間の学び」は、困難なことに自ら挑戦する中で経験できる「試行錯誤」と「切磋琢磨」にあります。だから、自分と違う個性の人との学習が必要。人と「違う」こと、つまり多様性が大切。

【3】出口は、いつも「ひとりひとり」

学ぶことと自分の人生や生活とのつながりを実感しながら、自らの能力を引き出し、学習したことを活用して、生活や社会の中で出会う課題の解決に主体的に生かしていけるように……。
「中教審答申」

最終目標は「自立」。行事でも授業でも部活でも、めざすのは、「一人一人」の高まり。これからの社会では、自分で自分の学習や生活を作り出していく『セルフマネジメント（自己管理能力）』の力が特に重要です。自分を見つめ、より良い人生を求めていけるのは、自分だけです。

2 学校の教育目標の実現をめざして【方針】

学校の教育目標「共に創る」-学び合う 友と高まる 鍛え合う-

<こんなひとりひとりに = 自立>

自ら学び、自ら能力を引き出す力を高める一人一人
×「(家庭学習で)何をしたらよいか、思いつかない。」

■ 先生たちの課題（生徒と同じ）

教師の世代交代が進むと同時に、学校内における教師の世代間のバランスが変化し、教育に関わる様々な経験や知見をどのように継承していくか

「学習指導要領 解説総則編」

- * 自ら「先生」としての指導力を高めることが必要
- * 郡上市の全ての先生たちで学び合うことが必要

<こんな白中に = 安心参加・協力・貢献・自立>

- (1) 先生と生徒が学校生活への夢や願いを共有する。
- (2) 4つのステージごとに見通し（目標と重点活動）を共有し、一人一人が振り返り（自分みづめ）を繰り返すことを通して、学習や生活を高める力を身に付ける。
- (3) 困難なことにこそ、進んで挑戦する。
- (4) 挑戦する中で、試行錯誤や切磋琢磨を大切にし、学び方や生き方を学び合い、鍛え合う。

<学校づくりに生かしたい生徒の願い>

- ・誰もが安心して生活できる（がんばれる）学校にしたい。
- ・地域に貢献できる（地域が誇りとする）学校にしたい。

<新しい働き方に生かしたい先生の願い>

- ・自ら挑戦できるチャンスを、生徒から奪ってしまわないように、生徒に任せるべきことを明確にしたい。
- ・自ら試行錯誤と切磋琢磨ができる「先生」でありたい。
- ・「家庭や地域と繋がる（家庭や地域の力を活用する）学校」をめざしたい。

「白中人権宣言」を全教育活動のベースにして

※「郡上市 命の教育カリキュラム」「ぎふ いのちの教育」

3 令和4年度、特に大切にすること【重点】

重点1

■ 自ら困難に立ち向かう「豊かな生き方」を身に付ける

◎高校や社会で失敗を怖れず挑戦する「生き方」を磨く。

【白中人権宣言】

- ① 自ら地道に誠実に努力する生き方（「あ・じ・み」）
- ② キャリア学習を生活の軸とする生き方【中高一貫教育】
- ③ 自分の良さと弱さをみづめ、なりたい自分を求める生き方
- ④ 小・中・高を通して地域に学び、地域に貢献しようとする生き方（「郡上学」）【白鳥プラン】
- ⑤ 他の人をモデルとして学び取ろうとする生き方

■ 保健室をターミナルとする教育相談の仕組み作り

■ 「自らの考えをもち主体的に活動する生徒」を育てる見通し作り

重点2

■ 自分の生活を切り拓く「確かな学力」を身に付ける

◎高校や社会で生きてはたらく「確かな学力」を高める。

【白中STAR計画】

- ① 課題解決や目標達成に向けて、見通しをもって、ねばり強く追究する力
- ② 知識・技能を身に付け、授業や家庭学習の中で活用する力
- ③ 仲間と共に切磋琢磨したり、試行錯誤したりする力
- ④ 身に付けた能力を自覚し、実生活の場で活用する力

■ 生徒と令和5年度の公表会を共有する「学び」の見通し作り